

# 代々木図書館新聞

よよぎとしょかんしんぶん

渋谷区立代々木図書館 03-3370-7566

〒151-0053 渋谷区代々木 3-51-8 代々木区民施設 4F

Vol. **25**  
2013年11月15日

## 代々木図書館 2013年・11・12月 2014年1月の予定

### 11月

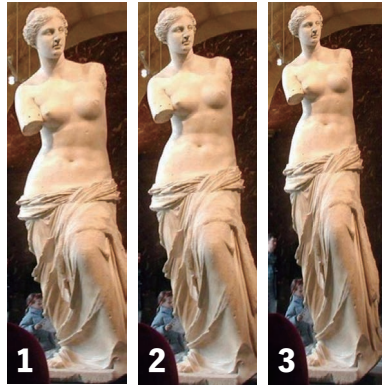
- 11月16日(土) 15時～15時30分  
おはなしとこうさく会
- 11月21日(木) 15時～15時30分  
おはなし会
- 11月23日(土) 9時～  
雑誌リサイクル
- 11月28日(木) 15時～15時30分  
おはなし会

### 12月

- 12月5日(木) 15時～15時30分  
おはなし会
- 12月19日(木) 15時～15時30分  
おはなし会
- 12月21日(土) 15時～16時  
クリスマス会
- 12月26日(木) 15時～15時30分  
おはなし会
- 12月28日(土) 9時～  
雑誌リサイクル

### 2014年1月

- 1月13日(月) 成人の日  
11時～12時  
大人のためのおはなし会
- 1月16日(木) 15時～15時30分  
おはなし会
- 1月18日(土) 15時～15時30分  
こどもカルタ会
- 1月23日(木) 15時～15時30分  
おはなし会
- 1月25日(土) 9時～  
雑誌リサイクル
- 1月30日(木) 15時～15時30分  
おはなし会



## Q どのヴィーナスが すてき?

ミロのヴィーナスは、身長とおへそから下の長さが黄金比に近いのだそうです。ところで、黄金比が美しく見せるって本当かな?左の写真のうち、2枚は比率を加工してあります。あなたが「すてき!」と思うのはどのヴィーナス?

➡本物は2です。図書館でのアンケートでも、2が14票で一番票を集めました。1が10票。人気が無かったのは3で1票のみ。足は長ければ良いというものでもないですね。

## 秋の図書館フェア

# 芸術にひそむ美の法則

渋谷区立図書館では、秋の図書館フェアを開催しました。メインテーマは、ズバリ「芸術に親しむ」。

代々木図書館では「芸術にひそむ美の法則」と題して、黄金比と白銀比に着目し、11月13日まで展示しました。

### ●黄金比と白銀比

黄金比とは、1:1.618の比率のことであり、西洋の美の基準となっています。歴史的にも有名なミロのヴィーナスやダビデ像、ギリシャのパルテノン神殿など、数多くの美術品・建造物に黄金比がひそんでいることを紹介しました。

現在では、iPodや新書判の本、カード類など、様々な日用品のデザインにも黄金比が使われています。

一方、白銀比とは「1:1.414」の比率で日本の美の基準です。興福寺の阿修羅像や菱川師宣の見返り美人、法隆寺の五重塔など日本古来の美術品・建造物に白銀比が使われていました。そしてまた、現代の人気キャラクターは白銀比でできているとの考察も。

### ●芸術と数学

このように、芸術と数学には密接なつながりがあるようです。そこで、有名な数学者や数学にまつわる名言などについての展示も行いました。

### ●学ぶことは楽しいこと

代々木図書館は、今後も随時ミニ特集を行っていきます。どうぞ、芸術と読書の秋をご堪能ください。



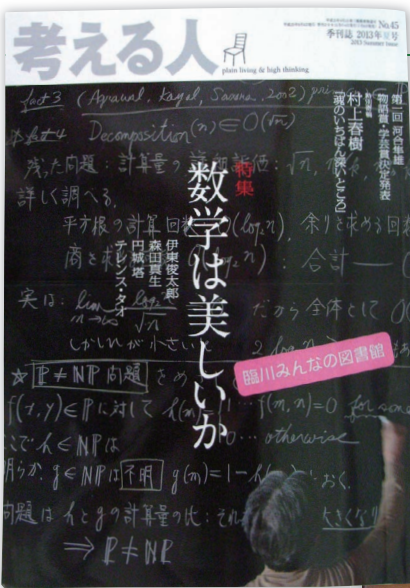
## 2013年11月・12月、2014年1月の休館日

**11月** 17(日)・19(火)・26(火) **12月** 3(火)・10(火)・12(木)・15(日)・17(火)・24(火)・29(日)・30(月)・31(火)

**2014年1月** 1(水)・2(木)・3(金)・7(火)・9(木)・14(火)・19(日)・21(火)・28(火)

この新聞は代々木図書館で働いているスタッフが作っています。

『黄金比』スコット・オルセン著、藤田優里子訳、創元社/『フィボナッチ』ジョセフ・ダグニーズ文、ジョン・オブライエン絵、渋谷弘子訳、さ・え・ら書房/『雪月花の数学』桜井進著、祥伝社



『考える人(2013年夏号)』新潮社  
『世にも美しい数学入門』藤原正彦著、筑摩書房  
『数学の秘密の本棚』イアン・スチュアート著、ソフトバンククリエイティブ



数学の美しさをたてる名言を展示。共感できたら、シールを張っていただきました

## Q 数学は美しいと思いますか？

1面では、美しさの中に数学がひそんでいるとご紹介しました。けれども、数学そのものが、実は美しいと多くの人が語っています。展示した名言の中で、「いいね！」シールが一番多かったものはこちらです。

『数学者の生み出すパターンは、画家や詩人のものと同様、美しくなければならぬ』  
ゴドフリー・ハロルド・ハーデイ

今回の展示では、数学の魅力に取りつかれた数学者たちも紹介しました

た。400年近くも幾多の数学者たちが証明できなかった、フェルマーの最終定理を証明したアンドリュール・ワイルズ。難問中の難問と言われるポアンカレ予想を証明した、グレゴリ・ペレリマン。ライプニッツより早く行列式を発見し、ベルヌイより早くベルヌイ数を発見していた和算家の関孝和などです。

アンドリュール・ワイルズは、子供の時に図書館でフェルマーの最終定理を知り、数学に夢中になったそうです。図書館には、絵本から小説まで、数学を題材にした本がたくさんあります。まずは、本で数学の魅力にふれてみませんか。

## 渋谷の文字③ 伊東昌輝

「落葉の子守唄——代々木野ねぎ物語」。副題を見て、てっきり農業の話かと思いましたが。「代々木・野葱・物語」かと。本当は「代々木野・彌宜・物語」です。

現実に代々木八幡宮の神職である伊東氏が、「代々木野神社」の彌宜、犬飼六平太を主人公として書いた短編集。人の好い六平太は、参拝者の抱える問題を他人事として見過ごすことができませぬ。あれこれと気をもんでしまいます。

また、普段うかがい知ることのできない、神社の抱える悩みにも触れています。昭和60年の刊行ですが、現在もさほど変わっていないかも。書き手の人柄が表れた、読後ほのぼのとした気持ちの残る一冊です。著者は作家・平岩弓枝氏の夫君。



『落葉の子守唄』伊東昌輝著、講談社

## 最近これ読みました⑤

### 『天地明察』

冲方丁／著 角川書店

金王八幡宮にある算額を見に、主人公の洪川春海が訪れるところから、物語が始まります。算術の問題を書いた算額が神社仏閣に盛んに奉納されていた江戸時代のこと。春海は実在の人物で、徳川家に仕えた基打ち衆です。

算術に優れ、天文の知識もある春海は、やがて難事業を仰せつかります。人々と関わりながら事業を成し遂げようとする春海。支えた一人の女性の姿も見すごせません。



## クリスマス会

代々木図書館では、12月21日(土)午後3時からクリスマス会を開催します。工作やツリーの飾りつけなど、いつものおはなし会より盛りだくさんの内容です。サンタクロースもプレゼントを持って遊びに来てくれる…かもしれません。皆さんの参加をお待ちしております。



## 編集後記

『天地明察』に登場する算額は、渋谷の金王八幡宮の宝物殿で無料にて拝観できます。今まで見た算額はいずれも彩色された図形が描かれていて、なるほど「数学は美しい」。けれども、ガラス越しの写真撮影は難しい！算額前に張り付くこと約1時間。かなり滑稽な姿でありました(笑)

ご紹介した本は、すべて渋谷区立図書館で借りられます。